

和歌山県

地域医療支援センター

C M S C
COMMUNITY MEDICAL SUPPORT CENTER

www.cmsc.jp/



令和5年度

活動報告書

和歌山県立医科大学 地域医療支援センター

CONTENTS

はじめに 1

業務内容 2

年間スケジュール 3

医師不足状況等の把握・分析 6

▶和歌山地域医療マネジメント研究会

医師不足医療機関の支援、緊急時医師派遣・若手医師支援 ... 7

- ▶地域医療枠・県民医療枠医師配置
- ▶地域医療学講座・医師配置
- ▶地域医療機関医師適正配置検討委員会
- ▶遠隔医療支援システム
- ▶遠隔外来
- ▶勉強会「WING」の開催
- ▶遠隔救急支援システム

医師のキャリア形成支援・地域医療従事医師の養成 11

- ▶AHA-BLSヘルスケアプロバイダーコース講習会
- ▶新入生説明会
- ▶地域医療枠及び県民医療枠学生対象の学会早期体験研修
- ▶JMECC（内科救急・ICLS）講習会
- ▶地域医療従事者（地域枠医師）知事感謝状贈呈式
- ▶和歌山県知事表敬訪問
- ▶夏季病院見学（県民医療枠）
- ▶夏季病院等実習（地域医療枠、県民医療枠B・C）
- ▶地域医療枠及び県民医療枠1、6年生面談
- ▶和歌山県立医科大学専門研修プログラム説明会
- ▶キャリア形成計画（ヒアリング）
- ▶プライマリ・ケアセミナーの開催
- ▶紀伊半島地域医療連絡協議会
- ▶医師臨床研修指導医講習会の開催
- ▶医師のワークライフバランスに係る講演会の開催
- ▶キャリア形成プログラム冊子の作成
- ▶スキルスラボの充実

情報発信と相談への対応 18

- ▶オープンキャンパス
- ▶地域医療学講義
- ▶報告書等の作成
- ▶ホームページ・Facebookの運用

はじめに

平素より当センターの活動と地域医療枠・県民医療枠学生、研修医の教育にご高配を賜り、誠にありがとうございます。

当センターは、平成 23 年 4 月に和歌山県からの委託により和歌山県立医科大学内に設置され、本県の課題である医師の地域偏在及び診療科偏在の解消に向けて様々な取組を行っています。

本年 3 月末を以て、卒業後 9 年間のへき地医療拠点病院を中心に研修を行う「地域医療枠医師」、地域中核病院での研修を行う「県民医療枠医師」の 2 期生が、卒業後 9 年間のキャリア形成プログラムを終えました。後に続く地域医療枠・県民医療枠医師は、先輩達が築いてきた軌跡を更に確固たるものにすべく、県内医療機関で活躍するとともに、県内医療機関からの医師配置要望にも徐々に応えられる段階に入ってきています。

今後も県の医療計画に沿って、県、県内医療機関、県医師会及び病院協会等との連携を密にしながら、地域医療の充実に向けてさらなる努力を行ってまいります。

その為には能力の高い医師を多く育てる必要があると考えています。能力が高い医師について私はよく山にたとえて話をしています。裾野は「人を診る力」と「病気を診断する力」にあたり、山頂は「病気を治療する専門医力」にあたります。裾野が広ければ広いほど、山頂も自ずと高くなります。私は富士山のような、広い裾野と高い山頂を持った、つまり、総合診療能力と高い専門知識、技量を持った医師を育成したいと思っています。

平成 26 年に構築した遠隔医療支援システム（インターネットを利用したテレビ会議システム）につきましては、県内公的病院等 26 施設へシステム端末を設置するとともに、令和 4 年 2 月には新システムに更新し引き続き遠隔外来に活用しているところです。

今後も「地域の住民の皆さんが医療に困らないための仕組みづくり」に向け、地域の医療機関と連携しながら若手医師の育成と適正配置を進めていきたいと考えておりますので、皆様方のご支援、ご指導をお願い致します。



和歌山県立医科大学 地域医療支援センター
センター長・教授 上野 雅巳

業務内容

医師不足状況等の把握・分析

- 和歌山地域医療マネジメント研究会の開催

医師不足医療機関の支援、緊急時医師派遣・若手医師支援（地域医療学講座）

- 若手医師が勤務する医師不足医療機関への指導医派遣
- 医師不足医療機関への支援（緊急的診療応援）
- 地域医療機関医師適正配置検討委員会の運営
- 遠隔医療支援システムの運用
- 遠隔医療の推進
- 勉強会「WING」の開催

医師のキャリア形成支援・地域医療従事医師の養成

- AHA-BLS ヘルスケアプロバイダーコース講習会の開催
- 地域医療枠、県民医療枠新入生説明会の開催
- 地域医療枠、県民医療枠学生対象学会早期体験研修の実施
- JMECC（内科救急・ICLS）講習会の開催
- 地域医療従事者（地域枠医師）知事感謝状贈呈式への参加
- 知事表敬訪問の実施
- 夏季実習等
県民医療枠学生：県内公的医療機関見学を実施
地域医療枠、県民医療枠B・C学生：県内へき地医療拠点病院や保健所等での実習を実施
- 地域医療枠、県民医療枠1、6年生面談の実施
- 専門研修プログラム説明会の開催
- 地域医療枠、県民医療枠医師対象ヒアリングの実施及びキャリア形成計画の作成
- プライマリ・ケアセミナー及び勉強会の開催
- 三重大学、奈良県立医科大学合同による紀伊半島地域医療連絡協議会の運営・参加
- 医師臨床研修指導医講習会の開催
- 地域医療枠、県民医療枠医師・学生対象講習会の開催
- キャリア形成プログラム冊子の作成
- スキルスラボの充実

情報発信と相談への対応

- 医学部オープンキャンパスでの地域医療に対する情報発信の実施
- 地域医療学講義の実施
- 地域医療支援センターパンフレットの作成
- ホームページ、Facebookの運用

年間スケジュール

4

APRIL

●新研修医師説明会



●新入生説明会



5

MAY

●学会参加研修



6

JUNE

●第Ⅰ回 JMECC 講習会



●知事訪問



8
AUGUST

● オープンキャンパス



● 第1回プライマリ・ケアセミナー

● 夏季病院等実習
(地域医療枠、県民医療枠 B・C)



● 夏季病院見学 (県民医療枠)



9
SEPTEMBER

● 第2回 JMECC 講習会

10
OCTOBER

● 紀伊半島地域医療連絡協議会



● 第2回プライマリ・ケアセミナー



12

DECEMBER

- 医師臨床研修指導医講習会

2

FEBRUARY

- 第3回 JMECC 講習会

3

MARCH

- 第3回プライマリ・ケアセミナー
- 和歌山地域医療マネジメント研究会
- 医師のワークライフバランスに係る講演会
- 地域医療従事者（地域枠医師）知事感謝状 贈呈式



医師不足状況等の把握・分析

和歌山地域医療マネジメント研究会

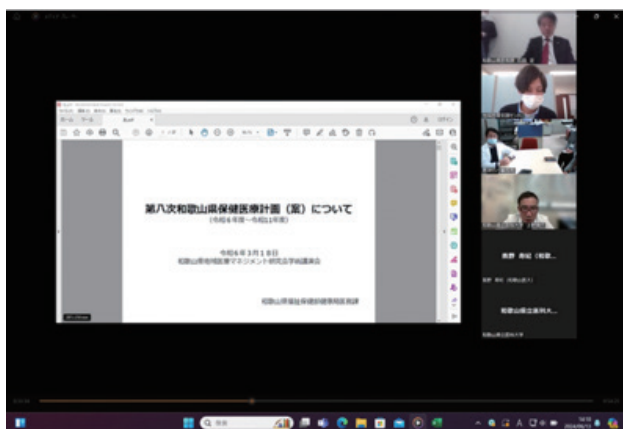
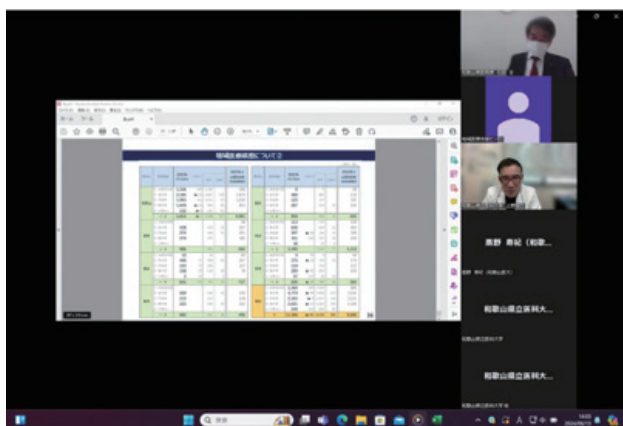
平成 25 年度から、医師や医療行政を担当する方、病院運営に携わる方など様々な職種の方々と一緒に和歌山県の地域医療に関する問題点や課題について考えることを目的として、年 1 回程度学術講演会を開催している。

令和 5 年度は、令和 6 年 3 月 18 日（月）に学術講演会『第 8 次医療計画について』をオンライン開催し、県内外医療機関及び行政関係者等 68 名が聴講した。

< 講演内容 >

演題：「第 8 次医療計画について」

和歌山県福祉保健部健康局医務課 石田 定 課長



令和 5 年度和歌山地域医療マネジメント研究会 学術講演会

日 時：令和 6 年 3 月 18 日（月） 16:00～17:00

開催方法：Zoom によるオンライン開催

演 題：『第 8 次医療計画について』

講 師：和歌山県福祉保健部健康局医務課 石田 定 課長

参加申込方法 ※事前のお申し込みが必要です。【3/15（金）午後 4 時締切】

①＜スマホ・タブレット＞の場合

右記の QR コードをスマートフォンやタブレットのカメラで読み取り、申込みフォームからお申し込みください。



＜パソコン＞の場合

以下の申込みフォームに直接アクセスし、お申し込みください。

<https://forms.gle/LSUdMVpPVydVzVRo7>

②開催日前日までに、事務局より講演会専用 URL、ミーティング ID、パスワード等を記載した招待メールをご登録いただいたメールアドレスへ送信します。

③講演会当日、お時間になりましたら、講演会専用 URL 又はミーティング ID でアクセスし、ご参加ください。

主催：和歌山県地域医療支援センター（附属病院東棟 3 階）

〒641-8509 和歌山市紀三井寺 811-1 TEL：073-441-0845

医師不足医療機関の支援 緊急時医師派遣・若手医師支援

地域医療枠・県民医療枠医師配置

へき地医療拠点病院を中心に研修を行う「地域医療枠医師」、地域中核病院での研修を行う「県民医療枠医師」の配置状況は別図のとおり。

なお、今年度は地域医療枠医師及び県民医療枠医師の2期生が卒業後9年間のキャリア形成プログラムを終え、今後も県内医療機関で活躍する医師が増加する予定。

●医師配置状況

(R5.4.1時点)

保健医療圏	地域医療枠	県民医療枠	合 計
和歌山(和歌山市)		17	17
和歌山(海南市、紀美野町)	5	2	7
那 賀	3	10	13
橋 本	3	6	9
有 田	2	3	5
御 坊	4	3	7
田 辺	8	19	27
新 宮	10	8	18
合 計	35	68	103

●学生数(参考)

(R5.4.1時点)

区 分	地域医療枠	県民医療枠	合 計
医学部1年生	10	20	30
医学部2年生	10	23	33
医学部3年生	10	20	30
医学部4年生	10	21	31
医学部5年生	10	21	31
医学部6年生	10	26	36
合 計	60	131	191

地域医療学講座・医師配置

和歌山県立医科大学の医師(指導医)が自治医科大学や地域医療枠等を卒業した若手医師が勤務する医師不足医療機関にローテーションで出向する仕組みを運用し、指導医は出向先である当該医療機関で勤務して地域医療の充実に貢献するとともに、同じく勤務する若手医師の指導を行った。

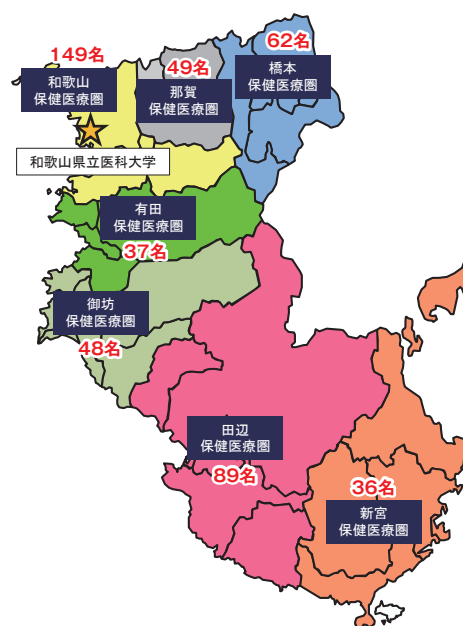
●緊急時医師派遣・若手医師支援

(地域医療学講座による指導医の配置)

有田市立病院内科	2 名
新宮市立医療センター内科	3 名
海南医療センター内科	1 名

●医師配置状況(令和5年4月1日現在)

県内公的病院等 470 名(右図のとおり)



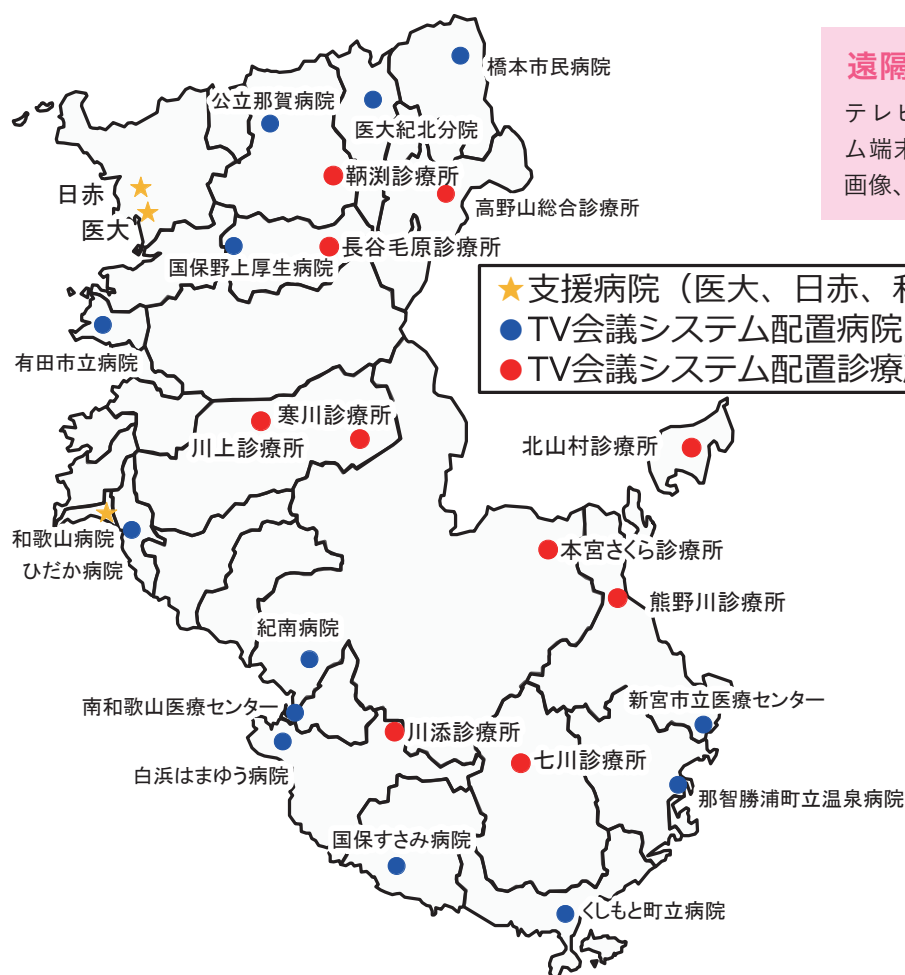
県内公的病院等への医師配置状況

地域医療機関医師適正配置検討委員会

平成 25 年から、地域医療機関からの常勤医師配置要請に対して、支援の必要性について審議する地域医療機関医師適正配置検討委員会を学内に設け、大学として一元的に対応している。令和 5 年度は 11 の医療機関から要請があり、11 の医療機関に対して必要性ありと判断し、令和 6 年度から 8 の医療機関に 12 名の医師を配置予定である。

遠隔医療支援システム

へき地診療所等に遠隔医療支援システム端末を設置し、遠隔外来支援、遠隔講義聴講を実施することにより、勤務医師の診療支援及び地域医療枠医師等のキャリア形成を支援した。また、遠隔医療支援システム構築・運用保守について、令和 4 年 2 月に新システムを導入。パソコン及び周辺機器についてはリース契約、会議システムについては Webex Meetings を導入し、運用を開始した。



遠隔医療支援システムとは？

テレビ会議システムを利用し、システム端末設置医療機関とリアルタイムで画像、音声等の情報交換が可能。

- 平成 25 年度末までに本学と県内 13 公的医療機関にシステム端末を設置
- 平成 27 年度末には、平成 28 年度から地域医療枠医師が勤務する紀南病院を含め、新たに 3 医療機関にシステム端末を設置
- 平成 29 年度末には、新たに 6 医療機関にシステム端末を設置
- 平成 30 年度末には、新たに 4 医療機関にシステム端末を設置

遠隔外来

和歌山県立医科大学附属病院から遠い地域に住む県民が地元の医療機関で本院の専門医のアドバイスを受けることが可能となる遠隔外来を実施した。

令和5年度は、実施枠を24診療科55専門外来及び栄養指導に拡大した。

● システム端末設置医療機関との協定の締結や本院における実施診療科の選定等を経て、平成26年7月11日から実施している。

● 令和5年度実績 (80件)

皮膚科	14件	神経精神科	2件
病態栄養治療部	50件	整形外科	2件
血液内科	4件	脳神経内科	6件
泌尿器科	1件	麻酔科	1件

● 遠隔外来広報チラシ及びポスターを作成し関係者へ配付するとともに、ホームページや病院広報誌「まんだらげ」及び県民の友を通じて、県民への周知を図った。

● システム端末設置医療機関を訪問し、医師や関係職員へ利用状況をヒアリングするとともに、利用方法等について個別説明を実施した。



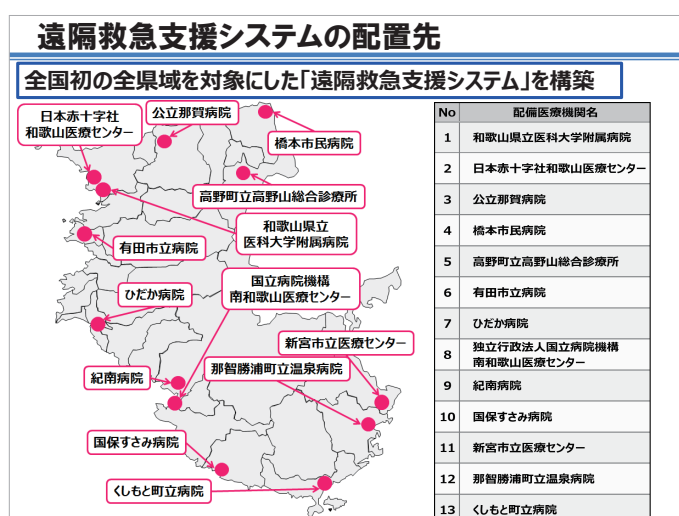
勉強会「WING」の開催

地域枠医師・学生を対象とした勉強会「WING」(司会進行：蒸野副センター長)を11回オンライン開催し、地域枠医師による派遣先病院紹介や症例検討などを行った。参加人数は第1回28名、第2回20名、第3回21名、第4回22名、第5回18名、第6回25名、第7回15名、第8回13名、第9回12名、第10回16名、第11回8名。



遠隔救急支援システム

遠隔救急支援システムに関しては、4診療科(循環器内科・心臓血管外科・脳神経外科・救急科)へ配備しているモバイル端末を活用し、県内13医療機関間で救急患者の検査画像等を正確かつ迅速に共有することで救急医療の連携強化を図っている。手術等の受入態勢及び治療開始時間の迅速化による救命率の向上や、不要不急の三次救急医療機関への転送防止による患者及び医師の負担軽減につなげている。また、令和2年2月から、新型コロナウイルス感染症の疑いがある患者の受入病院の選定にも活用している。令和5年度利用実績は、計267件であった。



医師のキャリア形成支援・ 地域医療従事医師の養成

AHA-BLS ヘルスケアプロバイダーコース講習会

研修医の交流と心肺蘇生の確実な実技取得を目的として講習会を開催。

今年度は令和5年度本院採用研修医・歯科医63名及び臨床研修病院採用研修医・歯科医36名を対象とし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため8回に分けて少人数制で実施した。開催日は令和5年5月29日(月)、7月11日(火)、8月8日(火)及び9月12日(火)の午前・午後。



新入生説明会

令和5年4月25日(火)に地域医療枠及び県民医療枠新入生を対象に説明会を開催し、地域医療枠及び県民医療枠に求められる役割の周知を図った。

それぞれの募集枠の趣旨を新入生に詳しく説明・再認識を促すとともに、卒前・卒後のキャリア形成支援や研修・制度等について説明した。

地域医療枠

プライマリ・ケアを実践し、高い総合的能力を有する医師及び医師研究者を育てる。

和歌山県から修学資金が貸与される募集枠で、卒業後9年間のうち5年間は、へき地医療拠点病院等を中心に研修を行う。

県民医療枠 A

和歌山県の地域医療に携わるとともに、医療・医学のリーダーとして活躍できる人材を育てる。

卒業後9年間のうち4年間は、地域の中核的役割を果たす県内公的病院で研修を行う。

県民医療枠 B・C

和歌山県において産科、小児科及び精神科医療に貢献できる医師を育てる。

和歌山県から修学資金が貸与される募集枠で、卒業後9年間のうち5年間は、地域派遣対象医療機関にて、特定の診療科で研修を行う。

地域医療枠及び県民医療枠学生対象の学会早期体験研修

地域医療枠及び県民医療枠2～6年生の希望者を対象に学会早期体験研修を実施。令和5年5月13日(土)～14日(日)開催の第14回日本プライマリ・ケア連合学会学術集会に3名が参加した。また、令和5年7月15日(土)～16日(日)開催の第15回日本ポイントオブケア超音波学会学術集会に3名が参加した。



JMECC（内科救急・ICLS）講習会

令和5年6月10日（土）、9月2日（土）及び令和6年1月28日（日）に、地域医療枠及び県民医療枠医師等の能力向上を目的とし、主に研修医2年目を対象として講習会を開催した。受講者全員（33名）が二次救命措置（ALS:Advanced Life Support）の技能を習得した。



地域医療従事者（地域枠医師）知事感謝状贈呈式

和歌山県立医科大学県民医療枠及び地域医療枠医師、自治医科大学卒業医師の計23名が、和歌山県内での勤務義務の年限を修了し、これまでの地域医療の確保と向上に尽力されたことに敬意を表し、功績をたたえるための知事による感謝状贈呈式へ参加した。

● 修了者23名

和歌山県立医科大学

県民医療枠 15名

地域医療枠 4名

自治医科大学 4名



和歌山県知事表敬訪問

令和5年6月30日（金）に地域医療枠及び県民医療枠の1年生30名が、知事及び雑賀技監と懇談した。

夏季病院見学（県民医療枠）

県民医療枠4年生16名が、夏期休業中に卒業後に勤務する県内公的医療機関を見学した。



夏季病院等実習（地域医療枠、県民医療枠B・C）

令和5年7月18日（火）～8月25日（金）に地域医療枠1～5年生51名及び自治医科大学1～5年生12名が県内へき地医療拠点病院や保健所等の医療現場で実習・見学を行い、医師を志す者として地域医療の魅力や特性を理解し、地域医療に従事する医師の役割及び責任についての認識を深めた。



また、同8月19日（土）に地域枠医師及び学生の実習報告会・交流会を開催し、医師10名、学生43名が参加した。

地域医療枠及び県民医療枠1、6年生面談

令和5年6月に地域医療枠及び県民医療枠1年生に対して、地域医療枠及び県民医療枠の制度説明、卒前・卒後のキャリア形成についてのヒアリングを実施した。

同7月、8月に地域医療枠及び県民医療枠6年生に対して、卒業後の進路に関するヒアリングを実施した。

和歌山県立医科大学専門研修プログラム説明会

令和5年8月30日（水）～31日（木）に本院の初期研修医を対象に専門研修プログラム説明会を開催し、プログラム内容等の周知を図った。

参加診療科等

内科系各診療科、小児科、皮膚科、精神科、外科系各診療科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、脳神経外科、放射線科、麻酔科、病理、救急科、形成外科、リハビリテーション科、総合診療科、社会医学科系



キャリア形成計画（ヒアリング）

地域医療枠・県民医療枠・近大和歌山県地域枠学生及び医師のキャリア形成支援の一環として、県の委託を受けて面談・ヒアリングを実施した。

- 令和5年5月、6月に地域医療枠及び近大和歌山県地域枠医師に対して、派遣病院単位でのヒアリング（オンライン）を実施した。

地域医療枠医師 及び 近大和歌山県地域枠医師 勤務先

- | | |
|---------------|---------------|
| ●公立那賀病院 | ●橋本市民病院 |
| ●国保野上厚生総合病院 | ●有田市立病院 |
| ●県立こころの医療センター | ●ひだか病院 |
| ●紀南病院 | ●紀南こころの医療センター |
| ●南和歌山医療センター | ●国保すさみ病院 |
| ●くしもと町立病院 | ●那智勝浦町立温泉病院 |
| ●新宮市立医療センター | |

- 同9月、10月に2年目研修医（地域医療枠、県民医療枠及び近大和歌山県地域枠）に対して卒業3年目以降のキャリア形成についてヒアリングを実施した。
- 同11月に地域医療枠医師及び近大和歌山県地域枠医師に対して、次年度の勤務先についてヒアリングを実施した。
- 令和6年3月に県民医療枠医師が所属する診療科長に対して、個人毎のキャリア形成計画（卒業後3年目以降の勤務先病院）の作成を依頼・更新した。
- このほか、県民医療枠学生及び医師に関する個別事案への対応手順を定め、入学時に誓約している卒業後9年間のキャリア形成を本学及び地域中核病院で行うこと等に関して、義務の猶予等の申し出等があった場合、適切に対応できる体制を構築・運用している。

プライマリ・ケアセミナーの開催

総合的な診療能力を有する医師に必要な知識や技能を学ぶとともに、総合診療についての理解をより深めることを目的に、プライマリ・ケアセミナーをオンライン開催。総合診療に携わる指導医、総合診療に興味のある学生及び研修医等を対象とし、第1回（令和5年8月2日（水））は27名、第2回（令和5年10月25日（水））は14名、第3回（令和6年2月28日（水））は31名が参加した。

<第1回講演内容>

演題：「地域で消化管癌をみつけたら」

和歌山県立医科大学地域医療支援センター 助教 中村 有貴 先生

<第2回講演内容>

演題：「地域で診る骨粗しょう症」

新宮市立医療センター 内科医長 井上 慎吾 先生

<第3回講演内容>

演題：「Don't Run Away from Pressure Injury ～褥瘡^{じよくそう}から逃げるな～」

新宮市立医療センター 内科医長 西岡 俊彦 先生

紀伊半島地域医療連絡協議会

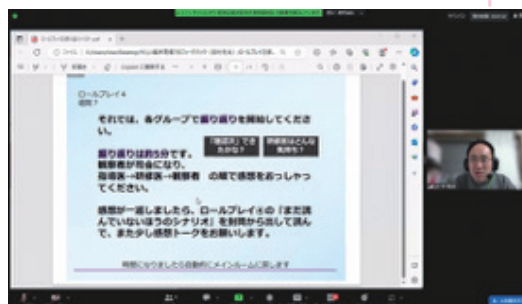
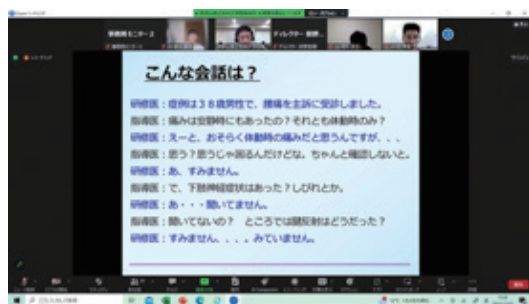
三重大学、奈良県立医科大学、和歌山県立医科大学の初期臨床研修医、教員等が一堂に会し、紀伊半島の地域医療、特にへき地医療について協議することにより、連携体制を構築するとともに、地域医療に貢献する医療人を育成することを目的として毎年輪番制で開催している。

令和5年度については、10月21日(土)に本学主催で「令和5年度紀伊半島地域医療連絡協議会」を和歌山県伊都郡高野町にて開催し、教職員14名及び研修医6名が参加した。教職員はコーディネーター会議(議題:大学:働き方改革時代における大学病院での臨床研修、県:他県間連携による医師の地域偏在対策)で発表及び意見交換、研修医はグループワーク(テーマ:研修医の救急研修について)を行った。



医師臨床研修指導医講習会の開催

令和5年12月2日(土)及び3日(日)に本院の主催により、指導医講習会をオンラインにて開催。レクチャー・演習に加え、グループ作業や共有を交えて16時間の講習を実施し、合計48名に修了証書を交付した。



医師のワークライフバランスに係る講演会の開催

地域枠医師・学生を対象として、令和6年3月5日（火）に講演会『女性医師の出産・育児とキャリア形成について』をオンライン開催し、31名が参加した。

<講演内容>

演題：「これからの医師のキャリアとアイデンティティ」

浅川 麻里 先生

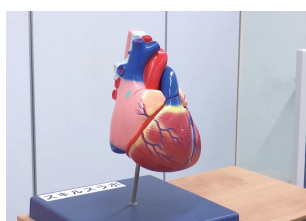


キャリア形成プログラム冊子の作成

新専門医制度の概要や各科プログラムを案内した冊子を作成、地域医療枠医師への配布や専門研修合同説明会で利用する等活用した。

スキルスラボの充実

選択制臨床実習の期間に本学医学部6年生が地域の病院で行う実習の支援や若手医師が手技等を練習する場所であるスキルスラボの拡充を図った。使用実績は学内3,124件、学外848件、合計3,972件。



情報発信と相談への対応

オープンキャンパス

医学部オープンキャンパスに参加し、蒸野副センター長による「県民医療枠・地域医療枠説明会」と、「地域医療支援センターの施設案内」を行った。



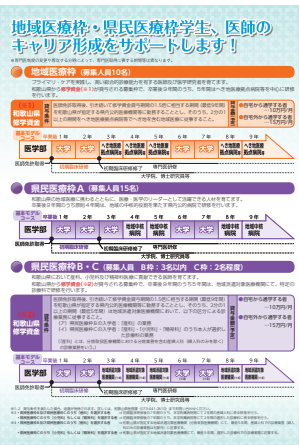
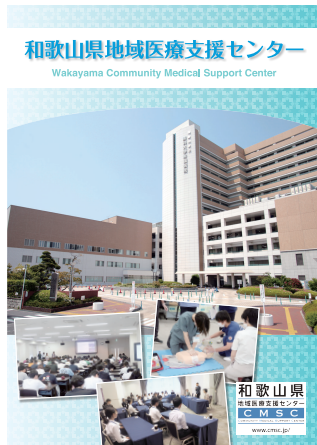
地域医療学講義

本学医学部2～4年生に対して、地域医療学の講義やグループワークを13講義実施。



報告書等の作成

地域医療支援センター活動報告書、地域医療支援センターパンフレット、遠隔外来広報チラシ及びポスター等を作成した。



令和5年度和歌山地域医療マネジメント研究会 学術講演会

日 時：令和6年3月18日(月) 16:00~17:00

開催方法：Zoomによるオンライン開催

演 題：『第8次医療計画について』

講 師：和歌山県福祉保健健康局医務課 石田 定 課長

参加申込方法 ※事前のお申込みが必要です。[3/15(金)午後4時締切]

①スマホ・タブレットの場合
右記のQRコードをスマートフォンやタブレットのカメラで読み取り、申込みフォームからお申し込みください。

②パソコンの場合
以下の申込みフォームに直接アクセスし、お申し込みください。
<https://forms.gle/LSUdKvPpFVydV9Wt7>

③開催日前までに、事務局より講演会専用URL、ミーティングID、パスコード等を記載した招待メールをご登録いただいたメールアドレスへ送信します。

④講演会当日、お時間になりましたら、講演会専用URL又はミーティングIDでアクセスし、ご参加ください。

主催：和歌山県地域医療支援センター（和歌山県東条郷3路）
〒641-8509 和歌山市紀三井寺811-1 TEL：073-441-0845

みなさんも「遠隔外来」を受けてみませんか？

令和5年度は24診療科55専門外来及び栄養指導で実施します。
(詳しくは裏面の「令和5年度遠隔外来実施科」をご覧ください。)

お近くの24時間診療機関

和歌山県立医科大学附属病院の専門外来

- 遠隔医療支援システムを利用することにより、お近くのシステム設置医療機関(詳しくは「遠隔医療支援システム設置医療機関一覧」をご覧ください)で和歌山県立医科大学附属病院の専門の医師等によりアドバイスを受けることができます。
- 和歌山県立医科大学附属病院まで来院されなくても、お近くの医療機関で専門の医師等のアドバイスを受けることができます。また、通院に要する時間や経済的負担等を軽減できます。
- お近くの医療機関の医師に添えて、和歌山県立医科大学附属病院の医師がアドバイスすることにより、複数の医師の診察が実現します。

詳しくは和歌山県立医科大学地域医療支援センター又は、お近くの遠隔医療支援システム設置医療機関までお問い合わせください。

和歌山県立医科大学地域医療支援センター
TEL:073-441-0845 FAX:073-441-0846 E-mail:cmsc@cmsc.jp
和歌山県和歌山市紀三井寺811-1 和歌山県立医科大学附属病院3路

遠隔医療支援システム設置医療機関一覧

※ 令和5年度

設置医療機関	TEL
和歌山県立医科大学附属病院	0735-37-1800
和歌山県立医科大学附属病院 総合診療科	0735-37-4844
和歌山県立医科大学附属病院 内科	0735-37-2819
和歌山県立医科大学附属病院 外科	0735-37-4147
和歌山県立医科大学附属病院 小児科	0735-488-2178
和歌山県立医科大学附属病院 産婦人科	0735-37-2819
和歌山県立医科大学附属病院 皮膚科	0735-37-2819
和歌山県立医科大学附属病院 泌尿器科	0735-37-2819
和歌山県立医科大学附属病院 眼科	0735-37-2819
和歌山県立医科大学附属病院 耳鼻科	0735-37-2819
和歌山県立医科大学附属病院 歯科	0735-37-2819
和歌山県立医科大学附属病院 放射線科	0735-37-2819
和歌山県立医科大学附属病院 病理診断科	0735-37-2819
和歌山県立医科大学附属病院 薬剤科	0735-37-2819
和歌山県立医科大学附属病院 検査科	0735-37-2819
和歌山県立医科大学附属病院 看護科	0735-37-2819
和歌山県立医科大学附属病院 理学療法科	0735-37-2819
和歌山県立医科大学附属病院 作業療法科	0735-37-2819
和歌山県立医科大学附属病院 言語聴覚科	0735-37-2819
和歌山県立医科大学附属病院 栄養科	0735-37-2819
和歌山県立医科大学附属病院 社会福祉科	0735-37-2819
和歌山県立医科大学附属病院 健康増進科	0735-37-2819
和歌山県立医科大学附属病院 健康経営科	0735-37-2819
和歌山県立医科大学附属病院 健康文化科	0735-37-2819
和歌山県立医科大学附属病院 健康スポーツ科	0735-37-2819
和歌山県立医科大学附属病院 健康福祉科	0735-37-2819
和歌山県立医科大学附属病院 健康産業科	0735-37-2819

令和5年度遠隔外来実施科 ※ 令和5年度 実施期間

月	内科	外科
1月	1,000	1,000
2月	1,000	1,000
3月	1,000	1,000
4月	1,000	1,000
5月	1,000	1,000
6月	1,000	1,000
7月	1,000	1,000
8月	1,000	1,000
9月	1,000	1,000
10月	1,000	1,000
11月	1,000	1,000
12月	1,000	1,000

※ 令和5年度 実施期間

和歌山県立医科大学地域医療支援センター

和歌山県立医科大学附属病院 地域医療支援センター

ホームページ・Facebook の運用

地域医療支援センターホームページや Facebook を通じて、随時活動状況を発信した。

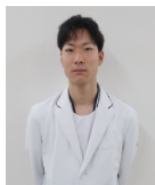


医師を目指す方へ

医師になるには

先輩からのメッセージ

先輩からのメッセージ



地域医療枠12期生
井上 弘康

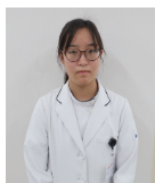
医師を志す皆様へ

地域医療枠は、プライマリ・ケアを実践し、高い総合力を有する医師及び医学研究者を育てることを目的とした、当大学の募集枠です。卒業後9年間のうち5年間は、へき地医療拠点病院等を中心に研修を行うことになっています。超高齢社会の日本では、糖尿病や高血圧など複数の基礎疾患を持つ患者さんが多く、こうした患者さんと向き合い、深く関わりながら地域に住む方々全体の健康を守り、支える医師が必要とされています。

地域医療枠ではこうしたプライマリ・ケアの精神を育む一環として、在学中に夏季研修プログラムがあります。保健所や病院を訪れ、実際の地域医療の現場を見学することができ、地域医療を行う上での医師の役割や責任について理解を深めることができます。他にも地域医療枠医師が行う勉強会も開催されており、学びの機会が充実しています。

勉強会以外には、学生医師間の交流会が定期的に開かれています。地域での仕事や生活についてイメージを掴むことができ、また先生方とも親交を深められることで、将来のモチベーションとなります。

地域医療に興味がある方は、ぜひ私たちと学び、将来の和歌山県の地域医療を一緒に支えていきましょう。



県民医療枠12期生
西 柚葉

和歌山県で医師を志す皆様へ

県民医療枠は和歌山県の地域医療に携わりながら、国際的に医療・医学のリーダーとして活躍できる医師となるため、大学1年生から卒業後9年までの一貫した教育を受けることができます。例えば、一般枠の学生と同じ授業や実習に加えて、医学部4年生の夏休みには和歌山県内の地域中核病院に見学に行く機会があります。将来自分が携わる地域医療のイメージを低学年の頃から持つことができたため、勉強への意欲が高まりました。

また、地域医療支援センターには医学書、医学雑誌、DVD資料などが用意されたスペースがあり、地域医療枠・県民医療枠の学生、医師が自習に使用することができます。学年の垣根を越えて同じ志を持つ仲間と勉強を教えあったり、医師としての将来像や地域医療について話し合うなど切磋琢磨に努めています。

地域医療では自分の専門科だけでなく、幅広い医学・医療を提供できる力が必要とされます。県民医療枠では大学附属病院と地域中核病院両方で研修・勤務することで、専門的な医療とプライマリケアの両方を修得できます。

皆さんと一緒に学び合い、和歌山県の医療を共に支えていくことを楽しみにしております。

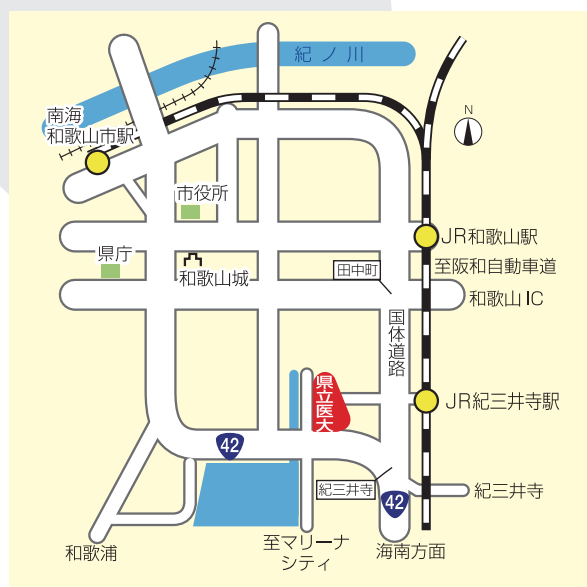


和歌山県立医科大学 地域医療支援センター

〒641-8509 和歌山市紀三井寺811番地1

TEL : 073-441-0845 FAX : 073-441-0846

Access Map



- JR紀三井寺駅 → 徒歩(約10分)
- JR和歌山駅 → バス・タクシー
- 南海和歌山市駅 → バス・タクシー



- JR和歌山駅前
 - 1 番のりば「医大病院」行 約25分
 - 2 番のりば「医大病院」行 約30分
- 南海和歌山市駅前
 - 1 番のりば「医大病院」行 約30分
 - 2 番のりば「医大病院」行 約30分
 - 3 番のりば「医大病院」行 約30分

令和 6 年 6 月発行

発行

和歌山県立医科大学 地域医療支援センター センター長

和歌山県地域医療支援センター センター長

教授 上野 雅巳